



# 柏原中だより

令和2年度末特別号 狭山市立柏原中学校

〒350-1335 狭山市柏原2520-11 TEL04-2954-5073 生徒数 251名

<学校教育目標> 今を精いっぱい生きる・凡事徹底 ○希望を持って進む生徒

## 第39回卒業証書授与式 コロナ禍の中での挙行

<3月15日(月)>

### ～卒業生、来賓2名、保護者各家庭1名、在校生代表16名、教職員での式～

3月15日(月)に、第39回卒業証書授与式を挙行了しました。今年度は昨年度と異なり、卒業生のほかに、保護者、在校生、そして来賓としてPTA会長も交えての式ができました。式次第は、昨年度と同様に、「記念品贈呈」や「祝電披露」など、紹介のみで済ませられる次第は、短縮して行いました。卒業証書を授与した後、校長式辞、教育委員会告辞と続き、来賓祝辞として、〇〇〇〇PTA会長から「これから新たな環境の中でいろいろな経験を積むとともに、お互いを思いやり助け合える素敵な友人をたくさん作ってください。」と花向けの言葉がありました。そして、在校生代表、生徒会長の〇〇〇〇くんからは、送る言葉として「これからも先輩たちらしく、新しい環境の中で頑張ってください。」とエールを送ると、前生徒会長の〇〇〇〇くんが別れの言葉として、「在校生の皆さん、残りの中学校生活を悔いのないものにし、柏原中学校をよりよい学校にしてください。」と、別れを告げました。「国歌・校歌斉唱」と「卒業の歌」では、大きな声で合唱はできませんでしたが、伴奏、指揮は、卒業生にやってもらい、口ずさんだり、心の中で歌ったりして、卒業の思いをかみしめました。午前11時から始まった式は約1時間、暖かい好天にも恵まれ、厳粛な中にも思いのこもった素晴らしい式になりました。



卒業証書授与



送る言葉



別れの言葉



3学年担当教員

## 1年生 校外学習 (つくば方面:筑波実験植物園、エキスポセンター)

<3月19日(金)>

これまで2回の延期を余儀なくされてきた1年生の校外学習が、3月19日(金)に実施できました。圏央道の開通で、トイレ休憩をはさんでも2時間かからずに筑波研究学園都市に到着できます。今回は、筑波実験植物園とつくばエキスポセンターを見学しました。植物園では、約3千種類の植物を見ることができ、世界の気候区分別の植物や、日本の四季折々の植物もあり、生徒たちは、見る順序を決めて計画的に見学しました。エキスポセンターは1985年に筑波研究学園都市で開催された国際科学技術博覧会の閉幕後、最新の科学技術や身近な科学に親しみを持ってもらえるように開設された施設で、科学を応用した実験器具がたくさんあり、生徒たちは、いろいろな器具での実験を体験しました。(写真上:1組、下:2組)⇒



## 柏原中マスコットキャラクターが決定!!「かしわっこ」

<3月23日(火)>

生徒会主催で、柏原中学校のマスコットキャラクターを決める取組が行われました。全校生徒に募集をかけ、集まった18点の作品の中から最終選考作品5点を選び、全校生徒及び保護者(保護者会時等に依頼)の投票の結果、「かしわっこ」(右図案)に決まりました。最終選考作品5点の入賞者には、3月23日(火)の生徒朝会で生徒会長から感謝状が授与されました。

◇ 入賞者(敬称略): 2-1〇〇〇〇、2-3〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、1-1〇〇〇〇。「かしわっこ」は〇〇〇〇さんの作品です。



「かしわっこ」

## ※ 卒業式で述べた、校長式辞を掲載します。

### 式 辞

桜のつぼみも膨らみ、温かな日差しを受けて、色とりどりに咲く花が目を楽しませてくれる季節を迎えました。本日は、狭山市教育委員会教育委員 ○○○○様、本校PTA会長 ○○○○様、そして、卒業生の保護者の皆様のご臨席をいただき、コロナ禍のさなか、こうして卒業証書授与式が挙行できましたことに、まずをもって深く感謝申し上げます。八十六名の卒業生の皆さん、ご卒業、おめでとうございませう。本来ならば、百六十五名の在校生、そして地域でお世話になったご来賓の皆さまと一緒に、大勢で、皆さんを祝福したいところではありますが、在校生と教職員で、できる限りの祝福をしたいと、準備してまいりました。

卒業生の皆さんとの、私の一番の思い出は、面接練習をしたことです。みんな、一生懸命、真剣に取り組んでくれました。また、一人一人が自らの進路を、しっかりと考えていることが、よく伝わってきました。そうした、取組の姿勢の甲斐あって、卒業生全員の進路が決まったことは、全教職員の、この上ない喜びであります。

さて、新型コロナウイルス感染防止のため、多くの行事、大会やコンクールが中止となり、教育活動に大変多くの制限が加えられました。そのため、皆さんの、最高学年としての活躍の場が、減ってしまったことが、何より残念でなりません。しかし、そうした中で、体育祭では、三人の団長を中心として、それぞれの団で、下級生を引っ張って、まとまりのある応援を繰り広げてくれました。秋に延期した修学旅行では、リーダーが中心となって、能登島での里海体験や、金沢の班別研修など、まとまって意欲的に、そしてなにより楽しんで行動できていたのが印象的でした。生徒会活動では、地域のイベントが全て中止になった中、ゴミ拾いボランティアを実施し、全校のボランティア活動を支えてくれたこと、また、専門委員会で、常時活動、キャンペーン活動などに、積極的に取り組んでくれたことなど、柏中の最高学年として、学校をしっかりと支えて、次の学年に、確実につなげてくれました。その成果は、今後も消えることはありません。

保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございませう。今年度は特別に、卒業記念樹として、梅の木を、各クラス一本ずつ、植樹しました。これから花が咲くまでに成長するのが楽しみです。お子様も、この柏原中で学んだ、「仲間とともに夢を語り合うこと」、「仲間とともに学び続けること」、「仲間と貴重な時間を共有すること」、その精神を大切にして、梅の木と同様、自分の将来を切り開きながら、さらに大きく成長されますことを、心よりご祈念申し上げます。

結びに、卒業生の皆さんが、柏原中の卒業生として、それぞれの場所で、必ずや、色とりどりの花を咲かせてくれるものと確信しています。卒業生の皆さんの輝かしい未来と、その前途を祝して、式辞といたします。

令和三年三月十五日

狭山市立柏原中学校校長 井堀 広幸

※ 横書きですが、漢数字で表記しています。